

第4回 子ども支援セミナー

～ 子ども一人ひとりの健やかな成長のために ～



日時：平成27年8月21日（金）10:00～15:00

受付：9:30～

場所：関西福祉大学 2号館 A100大講義室 他

共催：関西福祉大学・兵庫県立赤穂特別支援学校・赤穂市教育委員会

協力：赤穂健康福祉事務所

スクールバスを運行しています

【JR 播州赤穂駅 ⇄ 関西福祉大学】

ご来学の際には、スクールバスをご利用ください。

🕒 所要時間：約8分 🕒 運賃：無料

🚗 乗車口： 行き 播州赤穂駅南口3番乗り場 帰り 関西福祉大学 ロータリー

行き 播州赤穂駅発 → 関西福祉大学着				
8:48	9:40	10:15	12:11	12:41
帰り 関西福祉大学発 → 播州赤穂駅着				
12:21	12:51	14:40	15:10	15:30

お申込み方法

①QRコード ②FAX ③電話

いずれかの方法でお申し込みいただけます。

参加費：500円（当日受付にてお支払いください）

*学生・高校生は無料

駐車場：あり（できるだけ公共交通機関をご利用ください）



お申込み・連絡先

関西福祉大学 附属地域センター

兵庫県赤穂市新田 380-3

電話：0791-46-2508

FAX：0791-46-2537

E-mail：yagi@kusw.ac.jp

担当者：八木 修司・作本 美保子

みなさまのご参加をお待ちしております



FAX 申込書 ~ご記入後、このページをFAXしてください~					
氏名	ふりがな			電話番号	
住所 ※簡単で結構です	市・町		職種 ※いずれかに○	教職員・施設関係者 大学生・高校生・一般	
参加内容	基調講演	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
	※参加される講演に○をしてください				
お弁当 ※いずれかに○	お弁当（500円）を注文		する ・ しない		
ご質問 その他					
※他にもご参加者がおられる場合は、こちらの欄へ必要事項をご記入ください。					

午 前 の 部 【10:00~12:00】

基 調 講 演：「子どものトラウマ

－ いじめをめぐるトラウマを中心に －

講 師：兵庫県こころのケアセンター 副センター長 亀岡 智美

場 所：2号館 A100 大講義室

子ども集団におけるいじめは古くから存在している問題です。わが国では、1980年代頃よりいじめによる子どもの自殺が社会的な関心を集めるようになり、文部省（当時）や警察庁がこの問題に取り組み始めました。このような流れの中で、2013年には「いじめ対策推進法」が施行されました。

一方、いじめは被害を受けた子どものこころを深く傷つけ、その子どものその後の人生にも長く悪影響を及ぼす可能性のあることが指摘されています。また、いじめの加害と被害が複雑に絡み合っている場合や、傍観者となった子どものメンタルヘルスへの影響も懸念されています。セミナー当日は、最近の知見も織り交ぜながら、この問題について考えたいと思います。

ラ ン チ タ イ ム 【12:00~13:00】

ご希望の方には、お弁当（500円）をご用意いたします（事前お申込みが必要）。

お弁当をご希望の方は、8月10日（月）までにお申し込みください。

周辺には飲食店やコンビニ等がございます。

②ご飲食は4号館食堂内をお願いいたします。

展 示 会 【12:00~13:00】

お気軽にお立ち寄りください（受付横のホールで同時開催）。

- ✦ 関西福祉大学 社会福祉学部生 ゼミ報告
「いじめと不登校」「コラージュ療法－芸術療法の世界－」など
- ✦ 兵庫県立赤穂特別支援学校 教育実践報告
- ✦ 赤穂健康福祉事務所「食育の取り組み」について

午 後 の 部 【13:00~15:00】

第 1 分科会：「子どものトラウマ

－ 発達障がいを抱える子どものトラウマを中心に －

講 師：兵庫県こころのケアセンター 副センター長 亀岡 智美（講師）

兵庫県立清水が丘学園

中村 有生（話題提供者）

関西福祉大学 社会福祉学部

八木 修司（司会兼指定討論者）

場 所：1号館 211 教室

発達障がいを抱える子どもは、トラウマのハイリスクであると考えられます。それと同時に、発達障がいの特性とトラウマによる反応（症状）が類似しているために、トラウマの問題が見落とされることもあります。そのポイントやケアに関して亀岡先生に講義してもらいます。また、兵庫県立清水が丘学園（情緒障害児短期治療施設）の中村先生から具体的な事例を含めて話題提供を受け、フロアの参加者を交えて心理ケアや学校、家庭での支援について考えたいと思います。

第2分科会：「保護者対応？それとも家族支援？」

－ 教師と保護者の相互理解のヒント －

講師：大阪市SSW事業スーパーバイザー 井上 序子
神戸市スクールカウンセラー 牧 久美子
関西福祉大学 発達教育学部 米倉 裕希子

場所：1号館 215教室

モンスターペアレントという言葉が世間の注目を受けました。子育て支援の重要性が強調される中で、教育現場では保護者対応が課題になっています。また、一方で保護者は学校の先生になかなか理解してもらえないという気持ちを持っているという声を聞きます。

教師とはちょっと違う立場で活動するスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーは、家族や保護者とどう向き合い、どう支援しているのでしょうか。課題の背景にある現代社会における「家族像」についても一緒に考えていきたいと思います。

第3分科会：「心の交流を大切にした支援」

－ 養護教諭のかかわった事例の理解と支援 －

講師：関西福祉大学 看護学部 吉田 民枝（話題提供者）
広島国際学院大学 学生相談室カウンセラー 永川 邦久（指導・助言者）
関西福祉大学 看護学部 津島 ひろ江（司会・進行）

場所：1号館 216教室

子どもの健康問題は、ますます複雑で多様化しています。その中で、養護教諭は日々の保健室でのちょっとした会話から、子どもの訴え等から、さまざまなサインを受け止め、担任や関係者、保護者、必要に応じて専門機関と連携しながらかかわっています。しかし、学校に一人または二人しかいない養護教諭にとって、かかわりや事例をふり返り、指導・助言をしてもらう機会は、多くない現状だと思えます。

そこで本分科会では、20数年間の養護教諭の経験の中から、子どもの心の健康問題へのかかわりをふり返り、率直に報告します。その上で、子どもの心理・発達を踏まえたカウンセラーの立場からの指導・助言を受け、参加者の方々とのディスカッションを行います。養護教諭をはじめ、教育全般に関わる方、関心のある方、ご参集ください。

第4分科会：「小中学校、保育所、幼稚園に在籍する

自閉症スペクトラム障害とその周辺の子どもへの理解と支援」

講師：赤穂特別支援学校 大久保 圭子（企画者・司会）
河本 恵津子（企画者）
佐野 有司（話題提供者）
赤穂市立御崎小学校 鈴木 綾子（話題提供者）
大和大学 教育学部 井上 和久（話題提供者・指定討論者）

場所：1号館 217教室

インクルーシブ教育が推進される中、障害のある子どもと障害のない子どもが、できるだけ同じ場で共に学ぶことが目指されています。一方、子どもたちの中には社会的なコミュニケーションが苦手であったり、こだわりが強かったり、感覚入力が過敏あるいは鈍磨であったりするなどして、集団活動や学習に困難感をもつ子どももいます。本分科会では、そうした自閉症スペクトラム障害及びその周辺の子どもへの正しい理解のために、自閉症スペクトラム障害に関する基本的なことから最新の情報、特別支援学校、小学校の取組について話題提供し、参加者の方々も交え意見交換することにより、教育的ニーズに応える指導・支援の在り方を考えます。教育全般にかかわる方、保護者の皆様はじめ、関心のある方、ご参集ください。